



女性に対する暴力を
なくす運動
(毎年11月12日～25日)

DV(ドメスティック・バイオレンス)は、 あなたの近くでも起きています。 DVは身近な犯罪なのです。

平成18年8月に実施した「さいたま市男女共同参画に関する市民意識調査*」では、女性の約5人に1人が身体的暴力を受けていることがわかりました。また、女性の6割以上は、何らかの暴力を受けていても誰にも相談していませんでした。その理由は「相談するほどのことではないと思った」、「自分さえ我慢すれば何とかやっていけるといった」となっており、さいたま市においてもDVが身近な問題であり、家庭内に潜在化している傾向がうかがえました。

夫から暴力を受けている友人から 相談を受けたらどうしたらよいですか？

家族や親戚、友人など、身近な人への相談が多くなっています。

あなたが相談を受けたとき「あなたも悪いのでは」「どうして…しなかったの」などと責めてはいけません。まず、被害者の恐怖や不安を理解することが大切です。「暴力を受けているあなたは決して悪くない」ということ、そして電話で気軽に相談できる窓口が開かれていることをお伝えください。あなたの一言がDVの被害者を救うことになるのです。

女性の悩み電話相談のご案内

DVに関すること、家庭のこと、職場のことなど、女性の相談員が無料で相談に応じます。まずはお電話をください。秘密は厳守します。また、命に関わるような緊急の場合は迷わず警察(110番)にご連絡を！

●パートナーシップさいたま TEL048-643-5813

月～金曜日：午前10時～午後8時
土・日・祝：午前10時～午後4時

●その他市内4ヶ所の施設でも相談を行っています。

日時等詳細は「市報さいたま」でご確認ください。

女性に対する暴力を許さない社会を目指しましょう。

※本調査の報告書及び概要版はさいたま市ホームページ(<http://www.city.saitama.jp/index.html>)で全文をご覧ください。トップページから「広報・情報公開」の「男女共同参画」をクリックしてください。

八都県市 仕事と家庭生活の調和(ワークライフバランス)推進キャンペーン

男性の子育て参加の促進

「パパ子育てしてますか～変えてみよう働き方」

八都県市首脳会議(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市)では、事業者や住民の皆様一人ひとりが、仕事と家庭生活の調和の重要性を理解し、働き方を見直す契機とするために「八都県市仕事と家庭生活の調和(ワークライフバランス)推進キャンペーン」を実施します。

【キャンペーン期間 平成19年10月1日から平成19年10月31日】

🕒 定時・早期退社をお願いします！

子育てにはお父さんの力が必要です。
定時・早期退社をしましょう！

企業事例発表会に ご参加ください！

先進的な取組を行っている企業による事例発表会を開催し社会的な気運づくりを進めます。

- (1) 日時 平成19年10月29日(月)午後1時30分～午後4時30分
 - (2) 場所 アルカディア市ヶ谷 3階会議室(東京都千代田区九段北4-2-25)
- 申込み方法など詳細は、さいたま市のホームページ(<http://www.city.saitama.jp/index.html>)をご覧ください。

●お問い合わせ 子育て企画課 TEL 048-829-1909 FAX 048-829-2516

★ご存知ですか? 「さいたま子育てWEB」(<http://www.saitama-kosodate.jp>)

さいたま市では子育て専用のホームページを開設しています。子育て施設やサークル情報などの地域の子育て情報も満載で、会員登録すると自分のページが持つブログなども作れます。

インフォメーション



「ある時夜道を歩いていたら、突然、『すみません！すみません！』という大きな声が聞こえてくるんですよ。誰もいない、何事かと思つて緊張したら、また『すみません！』って。少し歩いてようやく見えてきた。男性が携帯電話を持っておじぎしながら話していたんですよね！」

コミュニケーションは わかり合うことから



パトリック・ハーランさん

タレント

●プロフィール●

1970年アメリカコロラド州出身。ハーバード大学を卒業。93年来日。97年、吉田眞さんとお笑いコンビ「バックンマクン」を結成。NHK総合の「英語でしゃべらナイト」などに出演中。テレビ、ラジオ、本の執筆に活躍。11月6、7日には新宿にて単独ライブを開催予定。

「アメリカのコメディには、『女はわからないなあ』『男はわからないわ』という合うネタがたくさんあります。」

特徴を理解できていないことが、男女間のコミュニケーションの隔たりとなっていて、それをお互いに理解し合えば、より良い関係が築けるとい内容だった。それを読んでから、夫婦間や母親とのコミュニケーションに良い影響があり、家族との関係が少し変わったという。

パトリックさんの話を聞いていると、男性と女性のコミュニケーションも、外国人と日本人と同様に、お互いをわかり合うことが大事だということが見えてくる。相手を理解するところから始めてみよう。その先に、可能性の扉は大きく開いていくのかもしれない。

「ある時夜道を歩いていたら、突然、『すみません！すみません！』という大きな声が聞こえてくるんですよ。誰もいない、何事かと思つて緊張したら、また『すみません！』って。少し歩いてようやく見えてきた。男性が携帯電話を持っておじぎしながら話していたんですよね！」

「NHK総合テレビ「英語でしゃべらナイト」の名キヤスター、パツクンことパトリック・ハーランさんは、とにかく日本人のこういう礼儀正しさに脱帽するという。日本人なら当たり前に思っていることが、アメリカ人には奇異に映る。『わかってしまえば、それが日本人らし

い礼儀正しさを、奥ゆかしさなんだと理解できます。僕はすごく好きです。でも時々、日本人のそういう奥ゆかしさが、ちょっともったいないな、と思うところもあります。たとえば日本の女性たち。笑うとき、よく口に手をやるのが気になります。微笑む姿はきれいだし、魅力的なのに。

「彼女たちはすごいですね。大好きです。いい意味で羽目をはずすことが出来ていてすばらしいと思います。日本の男性も、そういう意味では、女性を見習ってステージでも爆笑とった！と思った瞬間、笑顔を隠されちゃう」

一方で、中高年女性のパワーには感心させられるという。